

令和5年度 音楽科 授業改善推進プラン

大田区立嶺町小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・友達と協働しながらどのように演奏したいか思いや意図をもち、音楽のよさや面白さについて考えを伝えることができるようになった。
- ・学習のふり返りをしたときに、分かったことやできるようになったことなどの自分の変容を実感できるようになった。
- ・音楽づくりの活動を充実させてきたことによって思考力や判断力の高まりが見られる。歌唱や器楽などの学習でも自分なりに工夫してみようとする姿が見られる。

(2) 課題

- ・これまで感染症予防の観点からお互いに聴きあいながら歌う学習は難しかった。状況が改善してきた中で、よく聴き取る力を高め、一人一人が歌唱に対する意欲や自信をもてる指導を模索する。
- ・行事など発表の機会に、舞台上で表現する楽しさを感じながら聴き手を意識して演奏したり歌ったりする力を養っていく。

2 授業改善のポイント（観点別）

(1) 低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・声や身の回りの様々な音の特徴に気付いて音楽をつくる技能を身に付ける。 ・音に耳をすませよく聴くことと丁寧に表示することを大切にする。 ・ICT 機器を活用して、図や写真・動画で分かりやすく提示し、個に応じた指導をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・リズムを模倣したり、言葉を唱えたり、手拍子したりする遊び、言葉の抑揚を短い旋律にして歌う遊び、身の回りの音や自分の体を使って出せる音などから気に入った音を見つけて表現するなど、音遊びの活動を充実させるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習に粘り強く取り組んだり、自らの学習を調整しようとする意思をもったりできるように、体を動かしたり実際に音で試したりする活動を取り入れるなどして、楽しみながら活動できるように指導の手立てを工夫する。

(2) 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな音の響きや組み合わせ方の特徴に気付いて音楽をつくる技能を身に付ける。 ・音符や音楽記号を繰り返し様々な曲で取り上げ、表現の中で身に付けられるようにする。 ・自然な発声で、心地よく歌えている感覚を大切にし、友達と声を合わせながら音程の確かさを求めていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・異なる材質の物を組み合わせることで生まれるそれぞれの音の響きを生かして表現するなど、即興的に表現する活動を充実させ、音楽づくりの様々な発想を得られるようにする。 ・音楽を聴いてどんな感じがする（感受）それは音楽がどうなっているから（知覚）を結び付けることを積み重ね、音楽の感じを表す言葉を豊かにしながら、音楽の諸要素に触れられるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・過去の単元で学んだ事から同士の関連を意識させ、学習が積み上がっていることを理解させながら、次への見通しをもたせるようにする。上学年の演奏などに触れ、憧れや期待をもたせる。

(3) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none">一人一人が自分の声の得意な音域やよさを把握し、互いによさを認め自信をもって歌えるようにさせる。音やフレーズのつなげ方や重ね方の特徴を理解して音楽をつくる技能を身に付ける。	<ul style="list-style-type: none">各自で見つけた音を使ってみんなで模倣したり、ずらして重ねて表現したりするなどして、即興的に表現する活動を充実させ、音楽づくりの様々な発想を得られるようにする。作曲家の意図を強弱や速度などから読み取り、それを生かして表現する活動を通して、演奏技術を向上させながら、自分なりの意図をもって演奏できるようにする。	<ul style="list-style-type: none">多様な音楽、多様な演奏にふれる機会を通して、異文化理解や音楽へのより深い興味をもたせ、生活の中の音楽とのかかわりを積極的にもつように促していく。